

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、SL 野田、藤戸、前川、玉田、本上、田中た

2. 山城／ルート

北ア・穂高涸沢岳 春山例会

3. 交通手段

車

4. 行動記録

4/28(木) 神戸発 21:00→平湯キャンプ場

4/29(金) アカンダナ駐車場 5:50→上高地 6:25→横尾 9:50~10:15→11:25 本谷橋 (アイゼン装着) →涸沢 13:45 (15:00 テント設営完了) 就寝 18:00

4/30(土) 起床 3:00 出発 5:20→穂高岳山荘 7:45~8:35→涸沢岳 9:05~9:15→穂高岳山荘 9:45 (歩行練習) 下山開始 10:10→12:00 (雪上訓練) →涸沢 13:00 就寝 19:00

5/1 (日) 起床 3:00 出発 5:00→本谷橋 6:15~6:30→横尾 7:30~7:40→上高地 10:25

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

・Tさんの靴が経年劣化でソールが剥がれそうになった。応急処置でテーピングテープで処置したが、下山の時、本谷橋でアイゼンを外しテープも外して上高地まで歩行。駐車場に戻った時にソールが剥がれた。

出発前の自宅での点検で、危なそうな感じであり購入を検討したが店頭で冬靴が置いてなかった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・ソールの剥がれについて特に話し合いはしなかったが、シーズンの始めに点検の必要性を伝えた。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 今年雪が少ないので本谷橋までは夏道、本谷橋でアイゼンを装着する。
- アズキ沢は急斜面の直上、トラバースがある。特に下降時にはしっかりとアイゼン歩行技術が必要。また、上から歩行者が雪の塊を落とすので注意が必要。
- 涸沢岳へはほぼ夏道に雪が付いている程度。岩と雪のミックスになるので今回のトレーニングで岩場でのアイゼン歩行練習が役立った。
- 涸沢からの下山は降雪の為トレースがなかった。沢芯を下ったが、下り過ぎると登り返しが大変になるので適当なところで正規のルートに戻った。

報告者氏名 南山房啓 2016年5月6日



本谷橋



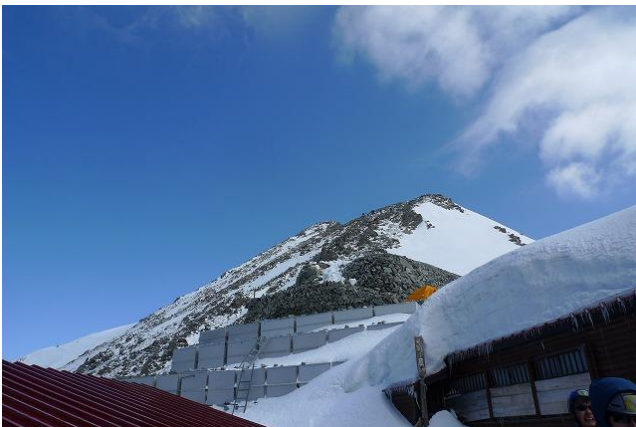
涸沢へ



涸沢モルゲンルート



アズキ沢の登行



涸沢岳へはほぼ夏道



涸沢岳山頂からの展望を満喫



槍ヶ岳 北穂高岳



前穂高岳 奥穂高岳 山荘